

日本のエネルギー政策の課題

2024年7月19日

一般財団法人 日本エネルギー経済研究所 (IEEJ)

理事長 寺澤達也

I. 次期エネルギー基本計画策定

1. 電力需要増と安定・低廉な電力供給（AI、電化、国内回帰）
2. 再エネ導入拡大と出力変動への対応
3. ゼロカーボンのベースロード電源の重要性
（原子力、新型地熱）
4. トータル・システム・コストの視点からのベストミックス
5. 不確実性に備えたLNGの確保（プランBと長期契約）
6. 非電力分野における脱炭素化（水素、CCS）
7. 需要面での対応（省エネ、ピークシフト）
8. 産業発展の契機に（スピードとグローバルスケール）
9. 長い時間軸（原子力、イノベーション、炭素除去）

II. 2024年度の課題

1. 2035年NDC提出
2. 安全性を大前提とした原子力再稼働
3. 水素支援プロジェクト・拠点選定、水素推進のための規制制度改革
4. 電力システム改革のレビュー
5. 排出量取引制度の具体的設計
6. 省エネ政策強化の具体化（P）
7. CCS財政支援の具体化（P）
8. アジアゼロエミッション共同体（AZEC）の具体化

Ⅲ. エネルギー安全保障

1. LNGなどの化石燃料の長期安定的調達
(供給源多様化、必要な投資確保、市場機能強化＋長期契約、製品毎視点)
2. クリティカルミネラル、クリーンエネルギー技術の安全保障
(強靱なサプライチェーン構築、省資源・需要合理化等)
3. 需要増、出力変動等に対応できる安定的な電力システム
の実現